

# 小さな親切



# 作文コンクール

第37回大分県「小さな親切」作文コンクールが小学生、中学生の各部で行われ、市内から5人の皆さんが入賞しました。今回は、大分県議会議長賞を受賞した馬渡佳奈さん（安岐中学校1年）の作品「私の肩は ばあちゃんの杖」を紹介します。

なお、市内の入賞者は次のとおりです。（敬称略）

## 入賞者

### 小学生の部

大分県本部優良賞

神崎 美桜（武蔵東小4年）

### 中学生の部

大分県議会議長賞

馬渡 佳奈（安岐中1年）

大分県本部会長賞

西田 貴志（武蔵中1年）

大分県本部優良賞

加藤 有沙（国東中3年）

古川なつ実（武蔵中1年）

## 私の肩は ばあちゃんの杖 （原文のまま）



安岐中学校1年  
馬渡 佳奈

「ばあちゃん！ 私の肩につかまっ  
ていいよ。」

「あー！ ラクチン。立派な杖だなあ。」  
これは、私が小学校4年生の春、スー  
パーを出て車に向かう時の会話です。

私の祖母は、腰が曲がり歩くのに大  
変な様子でした。以来、私の肩を頼り  
にしています。私が忘れて先に行く  
「杖さん、先に行かないで。」と、声  
をかけられます。私は、あわてても  
どつて杖になります。「ああ、この杖  
はいいなあ。置き忘れを心配しなくて  
いいし、ときには、荷物も持ってくれ  
るし、120パーセント私を助けてく  
れる。」と、喜んでくれます。  
あれから3年、私の肩杖は、今も大活  
躍です。

この春、私は中学生となりました。  
いつものように肩をかしていたら、  
「佳奈ちゃん、背が高くなつたなあ。  
もう、杖ではなく、ぶらさがらなくて  
は、まるで電車のつり革みたい。でも  
ラクチン。」と、一緒に車に向か  
いました。

バレーボールの選手だった祖母は、  
若い頃は元気なスポーツマンでし  
たが、年をとり、歩行を苦にしてい  
るようです。私の肩杖で、祖母の行  
動を助けられるなら、喜んで肩を使  
ってほしいです。

私にとっては、ささいな行為です  
が、祖母の喜ぶ様子を見て、受け取  
る側には、大きな支えになっている  
ことに気づきました。祖母のことだ  
けでなく、私の身のまわりにも、そ  
んな支えを必要としている人が、き  
つと思えます。そんな場面に出会っ  
たら、勇気を出して支えていきたい  
と思いました。

ある日のこと、スーパーで、祖母  
と同じように腰の曲がったおばあ  
ちゃんが多めの買い物をして、重  
そうに歩いていました。私は、祖  
母を思い出し、近よって「おばあ  
ちゃん、持つてあげましょうか。」  
というとき、びっくりした様子で  
「いいかえ、重いよ。ありがとう。」  
と、荷物を渡してくれました。広  
い駐車場のすみまで運んでいくと、  
「ありがとう。すまなかったなあ。」  
と、何度も頭を下げていました。  
私は、ちよつとしたことを、こんな  
に感謝され、いい気持ちになりました。  
何だか小さな種から、大きな果実  
が実つたような気分でした。これか  
ら、小さな種まきを心がけたいです。

## 東日本復興支援映画

## 「エクレール・お菓子放浪記」上映会



宮城県石巻市を中心にロケーションが行われ、「支えあう人の心のやさしさ」をテーマに描かれた一人の戦争孤児の物語。東北への支援の輪を広げようと全国で上映会が開催されています。

- ◆日時 3月15日（金）午後6時30分～  
3月16日（土）午前10時30分～、午後1時30分～
- ◆場所 アストくにさき アストホール
- ◆料金 一般 1,000円（当日1,500円） 小中高校生 800円
- ◆問い合わせ 福祉事務所 ☎0978-72-5164